

CORAL REEF



CONTENTS—

★Coral Diary

~とある年末の一日~

★「広場まつり」への参加

★ギャラリーショップ

だより

★2024 コーラルカレンダー



CORAL REEF Vol.07

発行元 社会福祉法人ラフト コーラル

〒274-0065 千葉県船橋市高根台 6-27-10

TEL/FAX 047-401-6460

編集人 土屋 滋朗

2023年12月31日 発行

Vol.07

Coral Diary ~とある年末の一日~

コーラル管理者 土屋滋朗

12月△日

7:00、目覚ましのアラームを止め、スマホをたぐり寄せる。布団の中で今日の天気を確認。くもり、最高気温10℃。今シーズン一番の冷え込みだ。上着の下にしっかりセーターを着込んで家を出る。送迎車に乗り込みエンジンをかけると、迷わず暖房を入れた。

利用者さんの家に到着し、インターホンを鳴らすと半袖姿で玄関から現れるYさん。思わず「わあ、寒そう」と呟くと、すみませんと言いながらお母様も苦笑している。

午前中は印西の浦幡新田公園までドライブ。車から外を眺めていたSさん「あっ、鳥が柿の実たべてる、ほら」と窓の外を指さす。熟れた柿が枝の先っぽにぶら下がり、ヒヨドリが一羽やってきてついでにいた。すっかり冬の風景。

Oさんはドライブ中、昨日の晩ごはんの報告をしてくれる。「昨日はね～、ホネたべた！」え、骨!?聞き間違いかと思ったが、何度もホネ、ホネと繰り返すOさん。真相を確かめるべく、連絡帳に書いてお母様へ報告。

公園に着いても気温は上がらず、ひたすら寒い。みんな少しでも体を温めようと、足ぶみしたりストレッチしたりしている。そんな中、おもむろに芝生へ仰向けに横たわるYさん。ウケ狙いなのか素でやっているのか、判断が難しい。髪の毛や背中を落ち葉だらけにして、笑っている。

Kさんは、数ヶ月ほど前からわたしの顔をまじまじとぞき込んで「ミッキーマウスのお顔みたい」と言ってくる。1ミリも共感できない(似ていない)ので毎回反応に困るが、それを伝えてくる時のKさんはいつもニコニコの笑顔だ。

公園をあとにして、コーラルへ戻る車内は静かだった。

昼食を終えた人から休憩や自由時間に入る。Hさんは個室で仮眠をとるのが習慣だ。職員が用意した毛布をかけ、ハンカチで顔を覆い遮光して眠る。「ハンカチを顔にかけてください」と言うので顔の上に乗せると、うらおもてが逆だと言う。言われた通り、ハンカチをひっくり返して乗せ直すと「これでいいです」と言ってくれた。ハンカチの下からおやすみなさい～と声がする。「ごゆっくり」と声をかけてHさんのものを去る。

Yさんの様子がちょっとおかしい。コップに水を汲んで階段の途中に置いている。罌を仕掛けているのだろうか。すぐに回収。ハンドソープにも水を注ぎ足している。石鹸の泡をしゃばしゃばにするつもりだろうか。ハンドソープの容器を一旦しまうと、眉間にしわを寄せて抗議の表情。

今朝、半袖で出てきたYさん。公園で大地と一体化していたYさん。少し落ち着かないようなので、気晴らしに外へお誘いする。ちょうど、商店会の集金を役員さんの家に届けに行く用事があったのだ。

外は相変わらず寒い。笑顔でゆっくりとYさんは歩く。役員さんの家の前まで来ると、Yさんはその場にしゃがみ込んだ。用事が済むまでそうやって待つつもりらしい。インターホンを2回押すも誰も出ず。残念、留守のようだ。Yさんは気にも留めず、立ち上がると来た道を引き返した。

帰りの支度を終え、各々自席で送迎車への誘導を待っている。Fさんは音の出る絵本を耳に当て、童謡『あめふりくまのこ』を聴いている。ふと後ろの席のTさんを見ると、Fさんの絵本から流れる童謡に合わせ、ノリノリになって体を揺らしていた。

夕方、送迎から戻り、いつものコンビニでホットコーヒーを買う。いつからか、年配の店員さんがわたしを見ると声をかけてくれるようになった。

「お仕事ご苦労さま。今日はもうお帰り?」「いやあ、これからもうひと仕事…」なんて答えながら、こなささいなやりとりが妙に沁みる年の瀬である。

いま、一日の業務を終え、こうしてパソコンに向かって今日という日を振り返っている。なにげない、記録しておかなければいつの間にか記憶から抜け落ちてしまいそうな、そんな一日。でも、なんてかけがえのない一日なのだろう。

~~~~~  
ただ過ぎていくだけの日々の中にもたくさんの宝物のような瞬間があり、そんな瞬間がいくつも重なり合って、いまのコーラルが存在しているのだとあらためて実感します。たくさん笑った日も、そうでなかった日も。モヤモヤした日も、辛かった日も。すべてが等しくかけがえのない一日であり、そしてまた、いずれ忘れ去られていくであろう未来の日々を思いながら、これから先も、目の前の瞬間を大切にしていきたいと思ったのでした。というわけで、

2024年のコーラルも、どうぞよろしくお祈りします!

<後日談>Oさん家の晩ごはん「ホネ」とは、なんと「おでん」のことでした!

いやホント、ホネとしか聞こえなかったんですよ～!(汗)



# ギャラリーショップだより

## 【委託販売開始のお知らせ】

コーラルの作品たちが、コーラルを飛び出して新たな場所で販売されることになりました！

場所は、京成佐倉駅近くの MAISON SORCIER(メゾンソルシエ)さん。ヴィンテージボタンを使用したアクセサリーを手作りして販売するお店です。佐倉周辺を訪れた際には是非お立ち寄り下さい。見学だけでも歓迎だそうです。お店に駐車場はありませんが、店舗前にコインパーキングがあります。

コーラルの作品がより多くの方に知っていただけますように。

\* MAISON SORCIER→佐倉市栄町 9-1

\* 営業日/主に金、土、日曜日の 12時～18時 (不定休)



## 【2024 コーラルカレンダー販売開始のお知らせ】



今年もこの季節がやってきました。そう、師走。1年のはやさに驚き、来年はどんな年になるだろうかと思いを馳せる、そんな季節。

一家に一冊(と言わず、何冊でも!)、コーラルカレンダーはいかがでしょうか!?

ここだけの話。気付かれる前に、先にごっておきます…。表紙の CALENDAR の綴りが間違っているということを…。

いいや、間違っただけじゃない!

介護のケア=CARE とかけて、

### ケアレンダー

ということで、ひとつよろしく…!

※詳細は次ページ

# コーラルオリジナルカレンダー つくりました。



Artist: 國吉巧耶 青木雄一郎 楠元征樹 藤田晋也 藤田享佑 三瀬爽輔 西山和樹

高橋明宏 湯浅晴 日下孝子 御代貴之 染谷優子 (1月~12月順)

北綾乃(表紙)

Font: 鈴木遥介(1月) 國吉巧耶(2月、4月、5月、9月、11月)

三瀬爽輔(3月、6月) 中島由衣(7月、8月) 楠元征樹(12月) **A4判 ¥1,000**

## まあい広場「広場まつり」への参加

コーラル常勤職員 山本多佳子

2023年10月28日(土)、まあい広場の開催する「広場まつり」に参加してまいりました。

私は販売準備のため、一足先に向かい、後から喜本理事長とコーラル販売担当メンバーたちがやって来てくれました。

販売担当の彼女は、最初は少し緊張した様子で所在なさそうにしていたのですが、コーラルブースの斜め向かい側のドリンク販売コーナーにお茶を購入しに行くと、何やらお店のお兄さんと意気投合しているようで、大きな声が聞こえてきました。

「はい、いらっしやいませ～!何にしますか～?サイダ～?オレンジジュース～?」

「お茶!」

「お茶!はい!100万円～!」

「ワハハハハハハハハ……」

のやりとりが何回も繰り返され、大変盛り上がっているようでした。

そんなやり取りを終え、すっかり緊張も解けた様子で彼女がコーラルブースに戻ってくると、まあい広場のスタッフさんが、おまつりの最後に行うビンゴ大会の景品にしたい、とコーラル商品の中から彼女の作った刺し子ストラップを選んでくださり、ビンゴ大会で景品を渡す時に彼女にインタビューをしたいと申し出てくださいました。

ええ、ぜひとも!マイクを持って発表することは大好きな彼女です。そしてブースの脇でスタッフさんは彼女とインタビューの練習を始めました。

「この刺し子はどんな思いで作ったんですか?」

「ん～、青!」

「……!!?」

「ワハハハハハハハハ……」

……だ、大丈夫でしょうか?

一抹の不安を残しつつ、ビンゴ大会が始まりました。

「22番!」「5番!」「67番……」

ビンゴがちらほら出始め、景品が渡されていきます。

いよいよ、彼女の刺し子ストラップが渡される番になり……

いざ、インタビューが始まりました!

スタッフさんが訊ねます。

「この作品はどうやって作ったんですか?」

マイクを受け取った彼女は……

「はい、え～、いいですか～」(マイクをポンポンと叩き……)

**「15番!」**

**ズコーーーーーーッ!**

スタッフさん、慌てて

「え～、いつ、今のは違います～!まっ、間違えましたあーーーー!」

す、すみません～(汗)、大爆笑する彼女と席に戻り、彼女の持っているビンゴカードをふと見ると……、左上の角にはまだ開いていない15番の数字……。

そうか、そうだったのか……。

そんな彼女ですが、最後まで販売担当のお仕事をお手伝い下さり、後片付けや重たい荷物を車まで運んでくれて、本当に助かりました。

コーラルの商品は、缶バッジやポチ袋、クリアファイル等がよく売れていきました。販売を通していろいろなお客様とコミュニケーションを取れたり、ご意見を聞くことができたことも大きな収穫でした。

いつもすてきな絵を描いてくださるコーラルの皆さま、手伝ってくださったメンバー、まあい広場のスタッフの方々、おまつりに来てくださった皆さま、ありがとうございました!

